

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	民生委員児童委員活動推進事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	01	01	04	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課					
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	矢口 道夫					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	民生委員児童委員	意図	県へ民生委員児童委員候補者の推薦を行い、またその活動費を支給し、民生委員児童委員の充実・支援をすることにより、以って地域福祉の向上を図る
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員候補者を県へ推薦する民生委員推薦会の開催 民生委員児童委員の費用弁償的な活動費の支給 			
事業開始から現在までの状況変化	昭和3年から全国に民生委員制度がある。市区町村、都道府県、指定都市、全国といった民生委員児童委員のネットワークをつくり、情報の交換をおこなっている。 近年は、民生委員・児童委員のなり手が見つからず欠員区域がある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① まちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合	20.30	23.10	23.70	%	↑↑↑	「できている、どちらかといえばできている」回答により算定
	② 民生委員児童委員充足率	95	91	95	%	↑↑↑	委嘱人数÷定数×100
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・任期満了に伴う民生委員の一斉改選があり、候補者選出に難航する地区があるため、民生委員推薦準備会を設置し、発掘した人材を地区へ推薦し、充足率を高めることができた。次回改選時も準備会を設置し、地区の負担を軽減するよう取り組みたい。 ・民生委員の事務量が増加しており、負担が大きいイメージが先行し、なり手が見つからず、欠員となっている地区がある。 ・民生委員にアンケート調査を実施し、負担と感じている業務の把握に努めた。これを基に負担軽減策を検討していく。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		14,791,950	14,824,735	14,502,230			
事業費(b)(円)		7,613,950	7,837,735	7,592,964			
うち一般財源		7,613,950	7,837,735	7,592,964			
職員給与費(c)(円)		7,178,000	6,987,000	6,909,266			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 推薦準備会の協力を得ながら引き続き欠員解消に努める 民生委員児童委員の事務量が増加しているため、事務内容の調査を行う 	③取り組みの課題	アンケートにより、負担となっている業務は増えてきたが、その内容は多岐にわたるので、精査する必要がある
②今年度(H26)に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 推薦準備会の協力のもと、欠員地区解消に努めた 事務内容調査を行い、活動に対するアンケート調査を行った 	④今後の改善計画	今後も推薦準備会の協力のもと自治会への助言を行うなどし、欠員地区解消に努める。アンケート結果を基に、負担軽減に向けて、民生委員児童委員協議会と協議を行っていく